

# 児童学科

「心理学」「教育学」「児童文化学」  
「芸術（美術・音楽）」「インクルーシブ学」の分野

## 子どもと絵画の世界

教授 小田 久美子  
(専門分野：美術教育・造形)

子どもの絵に関する研究は、始まって150年ほどと、他の学問の歴史と比較すると実はそう長くはありません。20世紀を代表する画家をはじめとした、多くの現代人の心をとらえる子どもの絵とその世界の魅力を、新しい学問として一緒に考えてみましょう。

## 感性を育む

～歌唱表現やリズム遊びを通して～

教授 池田 尚子  
(専門分野：声楽)

子どもたちが音楽を聴き、表現する際に、私たち大人はどのように関わればよいのでしょうか。美しいものを美しいと感じる心や、それをより深く味わう感性は、日々の豊かな経験の中で育まれます。歌唱やリズム遊びをとおして、一緒に考えてみましょう。

## 色を作る

教授 片山 裕之  
(専門分野：絵画)

絵画（色）遊びは子どもの感受性を養います。色彩の基本である三原色について、実技を通して理解を深めてもらいたいと思います。

## 共生社会の形成に向けて

～インクルーシブな心・聴く力、  
コミュニケーション力の育成～

教授 日下 紀子  
(専門分野：臨床心理学)

一人ひとりが自分と他者を互いに尊重しながら、より心豊かに生きていくためには、相手を理解し、自分をきちんと表現するコミュニケーションが欠かせません。その基盤となる聴く力、コミュニケーション力はどのように育まれるのか、一緒に考えていきましょう。

## You can do it !

教授 福原 史子  
(専門分野：モンテッソーリ教育・家庭教育・  
小学校英語教育)

小さいころ、何かに挑戦し、夢中になって何度も繰り返し、ついにできるようになった経験はありませんか？自分でできる自信（効力感）は成長に欠かせません。この「一人でできる！」を支える教師や保育者のあり方について、一緒に考えてみませんか。

## エピソードで学ぶ

### 子どもの育ち

教授 湯澤 美紀  
(専門分野：発達心理学・保育学)

子どもは科学者であり哲学者。子どものふとしたつぶやきに見る自然への鋭い洞察と時に柔らかな人間理解を、森のようちえんに通う子どものエピソードから学んでいきます。そして、子どもの育ちにとって大人の役割とは何か？あらためて考えていきます。

Department of Child Welfare

# 児童学科

「心理学」「教育学」「児童文化学」  
「芸術（美術・音楽）」「インクルーシブ学」の分野

## エピソード語りで描き出す 「人と人が共に生きるかたち」

准教授 青山 新吾

(専門分野：インクルーシブ教育、特別支援教育)

インクルーシブ教育とは、子どもの多様さを包摂できるよう、人権の視点を基盤として様々なアプローチを行っていくプロセスのことです。子どもたちの多様な姿と、そこに関わる人の関係をエピソード語りで表現し、「人と人が共に生きるかたち」を一緒に探っていきましょう。

## 算数はたくさん覚えないと いけない教科なの？

准教授 杉能 道明

(専門分野：算数科教育・教育実践学)

算数は覚える教科という誤解があります。違います。少なく覚えてたくさん考えることで考える力を育てることができる教科です。これは、なぜ算数を学ぶのかという算数を学ぶ意義ともつながります。具体例をもとに一緒に考えてみましょう。

## ストレスって何だろう？

准教授 梶原 彰子

(専門分野：臨床心理学・心身医学)

なんだか分からないけどお腹が痛い、頭が痛いというようなことはありませんか。人はストレスを受けると、心だけでなく体に症状がでることがあります。ストレスについて体験して、学んでみましょう。

## 共生社会の形成に向けて

—特別支援教育の視点を取り入れた教育—

准教授 土居 裕士

(専門分野：社会科教育・特別支援教育  
インクルーシブ教育)

教室の中に存在する多様な子どもたち。すべての子どもの学びやすさを生み出すためにどのようなことができるのでしょうか。特別支援教育やインクルーシブ教育という視点から、多様な子どもたちを包摂する教育のかたちについて一緒に考えていきましょう。

## “障害”のある子どものより 良い成長を支援するために

准教授 東 俊一

(専門分野：障害児心理)

近年、障害のある子どもへの支援の重要性が叫ばれています。では、“障害”とはどのようなもので、障害のある子どものより良い成長を促すために、どのような支援が必要なのでしょう？その概要について紹介します。

## 絵本やわらべうたを 楽しもう

准教授 三宅 一恵

(専門分野：幼児教育・児童文化)

幼い子どもたちにとって、身近な大人が応答的に関わることはとても大切なことです。絵本やわらべうたの実践はそのためにも欠かせないものです。子どもたちに読み聞かせたい絵本や一緒に楽しめるわらべうたについて考え、子ども理解を深めていきましょう。

# 児童学科

「心理学」「教育学」「児童文化学」  
「芸術（美術・音楽）」「インクルーシブ学」の分野

## 一生の心と体をつくる幼児期・児童期の運動遊び

准教授 安江 美保  
(専門分野：舞踊教育・体育科教育)

逆上がりのできない子どもが、逆上がりができるようになるには、何から教えたらいいと思いますか。また、そもそも逆上がりができるようになる必要があるのでしょうか。幼児期・児童期の運動遊びについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

## 保育に生かす絵本選び

講師 片平 朋世  
(専門分野：児童文化・幼児教育)

絵本を読んでもらうことは、「楽しい」ものです。では「楽しい」ってどういうこと？ 保育の中では、子どもが「喜び」を味わえるものを繰り返し読み、仲間と共有して活動に生かしています。事例をもとに、子どもが感じる「喜び」について考えてみましょう。

## 子どもと一緒に遊びを創る

—子どものつぶやきに耳を傾けて—

講師 西山 節子  
(専門分野：幼児心理学・保育学)

子どもたちにとって、遊びは大切な学びの場です。保育者は、子どもたちの興味や関心をしっかり捉え、子どもたちのつぶやきをつなぎながら、子どもたちと一緒に遊びを創っていきます。保育現場での経験を基に、具体的な遊びの事例を、エピソードや写真を交えながら紹介します。保育者にはどのような役割があるのか、一緒に考えてみましょう。

## 子どもの世界

—音・音楽とかかわって遊ぶ—

講師 藤掛 絢子  
(専門分野：子ども学・保育学（表現・音楽）)

乳幼児期の子どもたちは、遊びの中で、じっと音を聴き、想像を膨らませて音や音楽とかかわっています。そこには、私たちが考える「音楽」の枠組みを超えた、思考や表現の豊かさをみることが出来ます。子どもたちの姿やその育ちを支える保育の在り方について考えます。

## 初めてのメンタルヘルスリテラシー教育

～神経発達症やせん細さん（HSP/HSC）も知ろう～

助教 江草 信子  
(専門分野：メンタルヘルス支援学・小児発達学)

メンタルヘルス不調の予防・早期発見・治療などについて、自分も周りも大切にする生き方を考えてみましょう。神経発達症や思春期に気になる繊細さ（HSP/HSP）などについても学びます。

※インクルーシブ学を専門分野とする教員（青山・日下・土居・東）の出張講義については、インクルーシブ教育研究センターの項、心理学を専門分野とする教員（日下・梶原）については、児童臨床研究所の項もご参照ください。

Department of Child Welfare